1 緒言

デュークラバシチニブは、経口投与可能な、選択的チロシンキナーゼ 2（TYK2）阻害剤である。TYK2 は、炎症性サイトカインであるインターロイキン（IL）-12、IL-23 及び I 型インターフェロンの受容体の下流にあるシグナル伝達性転写因子蛋白質のリン酸化を触媒する非受容体型チロシンキナーゼであり、デュークラバシチニブは、TYK2 のキナーゼドメイン内の活性部位ではなく、シュードキナーゼドメインに選択的に結合するという新規作用機序を持つ。本作用機序に基づき、乾癬をはじめとする自己免疫疾患に対し、デュークラバシチニブの開発が進められている。

本製造販売承認申請で目的とするデュークラバシチニブの適応症は、尋常性乾癬、膿疱性乾癬及び乾癬性紅皮症である。